

Program

ダウランド (小早川麻美子: 編)
もし私の訴えが

Dowland / Arr. by M. Kobayakawa: If my complaints could passions move

野平一郎

《シャコンヌ》～ヴィオラ四重奏のための (2000)
— J.S. バッハの“無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番” BWV1004による
Ichiro Nodaira: Ciaccona de Bach Transformation pour quarte altos (2000)

バルトーク (ルドゥメーニ: 編)

トランシルヴァニアの夕べ

Bartók / Arr. by E. Ludmány: Evening in Transylvania

バルトーク

44の二重奏曲 BB104 (Sz.98) より

Bartók: Excerpts from 44 Duos BB104 (Sz.98)

シューマン (杉山洋一: 編)

「こどもの情景」(2017)

Schumann / Arr. by Y. Sugiyama: Kinderszenen for four violas (2017)

ピアソラ (小早川麻美子: 編)

「タンゴの歴史」より

Piazzolla / Arr. by M. Kobayakawa: Excerpts from “Histoire du Tango”

売春宿 1900 / カフェ 1930

Bordel 1900 / Café 1930

エスクアロ (鮫)

Escualo

今井信子・夢

第5回 ヴィオラ・クアルテット

ザ・イマイ・ヴィオラ・クアルテット

The Imai Viola Quartet

今井信子、ファイト・ヘルテンシュタイン、ウェンティン・カン、ニアン・リウ

Nobuko Imai / Veit Hertenstein / Wenting Kang / Nian Liu

2017 9.24 (日) 14:00 開演 紀尾井ホール Sunday 24 September 2017, 2 p.m. at Kioi Hall

入場料: 全指定席 ¥6,000 3/25 (土) 一般発売開始

チケットお申込み

◎イープラス <http://eplus.jp/> (PC & 携帯) ◎チケットぴあ 0570-02-9999 (音声自動応答・Pコード: 326-179) <http://t.pia.jp/> (PC & 携帯)
◎ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~20:00) <http://l-tike.com/> (PC & 携帯)
◎紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061 ◎東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催・お問合せ: AMATI Tel. 03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S201 <http://www.amati-tokyo.com>

●未就学児童の入場はご遠慮ください。●やむをえない事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。

今井信子・夢——第5回 ヴィオラ・クアルテット

第5回目となる今回はヴィオラ・クアルテットを披露します。ヴィオラ・クアルテットを演奏したいと思ったきっかけは、私が毎年1月に北海道小樽市で行っているマスタークラスでした。マスタークラスではヴィオラの合奏を行うのですが、高・中・低と三声ある弦楽四重奏やオーケストラと異なり、ヴィオラのアンサンブルは全ての声部が溶け合ったなんともいえない独特の響きがするのです。この響きに魅了され、ヴィオラ4本でアンサンブルを奏でてみたいと思いました。メンバーは未来を担うヴィオリストたちを皆様にご紹介したいとの思いから、ファイト・ヘルテンシュタイン、ウェンティン・カン、ニアン・リウを招きました。優れたヴィオリストは沢山いますが、彼らのように演奏・教育の両面で活躍するヴィオリストはなかなかいません。彼らを通じて今回演奏するレパートリーを次の世代に繋いでいってほしいと思っています。

プログラムは今や世界中で演奏されているヴィオラ四重奏の名曲、野平一郎さんの「シャコンヌ」や、昨年ウェンティンと共にハンガリーでフィールドワークを行ったバルトークの二重奏曲、このクアルテットのために編曲されたシューマンの「こどもの情景」やピアソラの小品などバラエティに富んだ内容になります。豊かな個性と感性を持つ彼らと共にどのようなハーモニーが生まれるか、私も今から楽しみにしています。

今井信子

今井 信子

Nobuko Imai



©Marco Borggreve

桐朋学園大学卒業。イェール大学、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン、68年ジュネーヴ両国際コンクール最高位入賞。70年西ドイツ音楽功労賞受賞。

ベルリン・フィル、ロンドン響、パリ管等と共演。室内楽ではクレメール、マイスキー、ミドリらと共演し、マールボロ、ヴェルビエ等の国際音楽祭に度々出演している。

2003年ミケランジェロ弦楽四重奏団結成。＜ヴィオラスペース＞の企画・演奏に携わるなどヴィオラ界をリードする存在として目覚ましい活躍をしている。これまでにフィリップス、BIS等から40を超えるCDをリリース。著書に「憧れ ヴィオラとともに」(春秋社)。

アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院各教授。上野学園大学特任教授。ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー。

ファイト・ヘルテンシュタイン

Veit Hertenstein



©Marco Borggreve

ファイト・ヘルテンシュタインは、近年頭角を現した最も興味深いヴィオリストのひとりと目されている。その演奏は「成熟性、テクニック、深い思慮に基づいた音楽性、濃い蜂蜜のような音色」(ザ・ボストン・ミュージカル・インテリジェンサー2013)と評されている。

ジュネーヴ音楽院にて今井信子に師事。第1回東京ヴィオラ国際コンクール

など数々の著名コンクールに入賞している。これまでにマールボロ、ヴェルビエ、ラ・フォル・ジュルネ等の国際音楽祭に出演し、トリオ・ワンダラー、イザイ弦楽四重奏団、ブリジット・エンゲラー、五嶋みどりらと共演している。

現在、ドイツ・デトモルト音楽大学教授。

ウェンティン・カン

Wenting Kang



2012年第2回東京国際ヴィオラコンクール第1位。中国生まれ、北京中央音楽院在学中15歳でヴィオラへ転向。ニューイングランド音楽院にて、ガース・ノックス、キム・カシュカシアンに、クロンベルク・アカデミーで今井信子に師事。カーネギーホール(ニューヨーク)、ジョーダンホール(ボストン)等で公演を行い、恩師カシュカシアンとアメリカ・ツ

アーで、マールボロ音楽祭では、今井信子(ヴィオラ)等と共演。近年ではフランクフルト放送響、マイスキー(チェロ)とシュトラウスのドン・キホーテのソロを担当。2016年は大阪と東京で無伴奏リサイタルを成功に導く。本年9月には名古屋フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にてウォルトンの協奏曲のソリストを務める。

ソフィア王妃高等音楽院にて今井信子のアシスタントを務める。

ニアン・リウ

Nian Liu



ソリスト、室内楽奏者、そして教育者として中国の若手のなかでも最も活発な活動を行っている演奏家のひとり。上海音楽院、南カルフォルニア大学ソントン音楽学校に学ぶ。2001年サンタバーバラ・ヤング・ミュージシャンズ・コンクール、2003年ホルン・アメリカ音楽協会国際ヴィオラコンクールに優勝するなど国内外の数々のコンクールで入賞。

これまでに室内楽でヨーヨー・マ、ミッシェル・マイスキー、ギル・シャム、五嶋みどりらと共演している。上海音楽院教授。